

新型コロナウイルス感染症と学校等における学びの保障のための取組等による児童生徒の学習面、心理面等への影響に関する調査研究（概要）

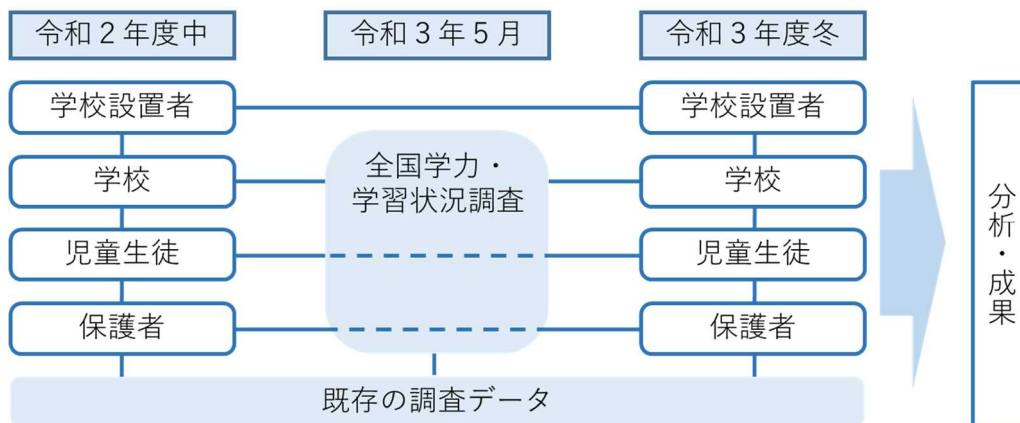
（委託先：株式会社浜銀総合研究所）

1. 趣旨

新型コロナウイルス感染症と学校、学校設置者等による学びの保障のための取組等が児童生徒の学習面、心理面等にどのように影響を与えているかを分析。

2. 基本的な調査設計とスケジュール

- ・ 学校設置者、学校、児童生徒、保護者に対するパネル調査
- ・ 全国学力・学習状況調査をはじめとした各種調査データと接続し、分析



※調査・分析結果については委託期間終了を待たず逐次公表

3. 主な調査項目（学校調査の例）

- ・ 臨時休業期間中の学習指導、生活状況の把握、学校の課題
- ・ 全面再開後の児童生徒の様子、学校の課題、学習活動
- ・ 授業や家庭学習におけるICT活用の課題
- ・ 学校の人的資源の状況その他基本的な学校運営の状況 等

4. 調査の特長

- ・ 令和2年度中に調査に着手することで比較的新しい記憶に基づく回答を得ることが可能。
- ・ 時点を分けることにより年度内の変化の分析も可能。
- ・ パネル調査と他の調査データとの接続により多角的な分析が可能。

5. 学校における調査負担軽減への配慮等

- ・ 回答自由の抽出調査（小、中それぞれ約 4,000 校）
- ・ オンライン上で多肢選択式の設問に回答
- ・ 協力校には都道府県別データ等についてフィードバック

6. 研究者との連携

委託先において以下の教育社会学を中心とする研究者と連携。

- ・ 苅谷剛彦 オックスフォード大学社会学科および現代日本研究所教授
- ・ 中村高康 東京大学大学院教育学研究科教授
- ・ 松岡亮二 早稲田大学留学センター准教授 他